

獣医アトピー・アレルギー・免疫学会技能講習制度

第2回技能講習履修修了試験一次試験

<採点基準>

○基礎免疫学的分野

論理性：各事象について、系統的論理的に述べられているか。文章の構成上、段落ごとにまとめ、論理的な展開が行われているか。

情報・知識：十分な知識と情報が含まれているか。

技能講習の内容や当学会からの情報が十分反映されているか。

構成：段落ごとにまとまった情報となっているか。

これらの段落が、正しい順序と整合性をもって解答として成り立っているか。

文章：特に主語述語など、一文一文がひとつの文章として成り立っているか。またこれらの文章が、つながりまとまっているか。

○臨床的分野

論理性：基本的な除外診断から始まる系統的な診断アプローチを行っているか。

論理的思考による診断や治療、予後判定、説明を行っているか。

情報量が十分でかつ分かりやすく、飼い主さんの視点も取り入れた事情や心情に配慮したていねいな説明となっているか。

情報・知識：臨床的な知識や技術を有し、最新の情報をしっかりと役立てているか。

技能講習や当学会で得られた知識を反映しているか。

特に重要な事項に対して、もれなく対応・解説しているか。

構成：基礎分野の採点基準に準ずる。

文章：同上

<採点>

上記各項目の論理性、情報・知識、構成力、文章力の4項目を、基礎免疫学的分野、臨床的分野でそれぞれ各項目5点満点、計20点満点の評価を行う。

<学科試験合格基準>

これらの合計点から各分野の平均点を算出し、各分野平均4.00点以上、分野総合平均4.25点以上を合格とする。尚、論理性と情報・知識の評価については、技能講習履修者にとって最重要課題であるため、3点以下の評価がついた場合は、たとえ平均点が合格基準を上回っても、不合格となる。

<合格審査>

会長および技能講習委員会に当学会名誉会員長谷川篤彦先生、当学会理事山口大学水野拓也教授、岐阜大学前田貞俊教授、当学会理事東京農工大学大森啓太郎先生を加えて厳正に行いました。

<一次試験合格者について>

技能講習制度は、免疫・アレルギーの知識を十分に持つ臨床獣医師の育成し、免疫疾患に対する獣医医療の底上げと獣医免疫学の発展を目指すことを目的とし、この制度を通じて獣医業界だけでなく社会にも貢献できる臨床獣医師を輩出したいと考えております。

技能講習制度を履修した獣医師が、その知識と診療技術を獣医業界全体に、そして次世代に伝達することがその第一歩と考え、今回の合格基準は、第一回と同様に平均 4.25 点以上としました。

尚、一次試験合格者は、二次試験（面接試験）にご参加いただき、この二次試験の結果と診療記録簿の内容を踏まえたうえで、技能講習履修修了試験の最終合否判定とさせていただきます。

一次試験合格者で、最終的に不合格判定された場合は、受験資格を有する期間の技能講習履修修了試験では、診療記録簿の提出と一次試験は免除され、二次試験のみで再度最終合否判定となります。